

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376400228
事業所名	グループホーム長篠の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 盆踊りをはじめ地域行事には欠かさず加わっています。つるし雛見学も恒例となり、3月になるとソワソワとしまして職員に「いつだった？」「いつなの？」と尋ねだす利用者もいます。フラダンスや南京玉すだれといったボランティアメニューも豊富で、今後は手品など参加型のを増やそうと意欲的です。地域というよりやや広域にボランティアメンバーを集めることができているのは事業所の力の成せる技と推量されます。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族代表、利用者代表、区長、民生委員、地域包括支援センター、法人内他事業所管理者2名、当事業所管理者で構成され、隔月開催が叶っています。民生委員は開始30分前には到着のうえ利用者と談笑しており、また普段からも機材と踊り手を携えて歌謡ボランティアに訪れていて、切れ間なく事業所にに関わり運営推進会議と日常の運営をつないでくださっています。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 地域包括支援センター等から随時入居相談が入っており、事業所としては生活保護者も受け入れるとしているものの、現状は空室がでて速やかに定員に達してしまうため、生活保護者の受け入れはできていないほどです。本年度から東三河広域連合が保険者となり、これまで地域包括支援センターで執り行っていた『事業者会議』が廃止され定期の情報交換の機会が減ってはいますが、市役所ならびに地域包括支援センターには努めて足を運び、連携を保っています。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 「本人の戻る場所はないので～」 「レベルが下がったらどうなるのか？」といった家族相談が面会時に入っていて、概ね家族は事業所に何事も投げかけやすい状況にあるといえます。それを裏付けるように家族会には15家族30名余の参加が見られ、8割以上という参加率です。昨年度は地元歌手を招いての歌謡ショー、本年度はフラダンスと、楽しみを通じて家族、利用者、職員との親睦を深めています。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○ 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○ 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○ 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価			◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	